

金沢大学附属病院で 脳神経外科を受診した脳腫瘍の患者さんへ

脳腫瘍摘出術が高次脳機能に及ぼす影響および 術後の回復過程に関する研究について

このたび、上記の研究で調べた結果の一部を、公的刊行物（本など）に掲載することになりました。対象となる方、および用いるデータは下記のとおりです。なお、個人情報公開されることは一切ありません。画像を用いる際は個人が特定出来ないように細心の注意を払います。

もし、公的刊行物に掲載して欲しくない方がいらっしゃいましたら、2018年5月31日までにそのことをお申し出ください。その場合、データは使いませんし、またこれからの治療に差し支えることは全くありません。また、ご自分がこの研究の対象になっているかお知りになりたい方についても、お調べしお答えいたします。

1. 対象課題

脳腫瘍摘出術が高次脳機能に及ぼす影響および術後の回復過程について

2. 対象

当院で開頭腫瘍摘出術を施行され脳腫瘍の確定診断を受けた患者さんのうち高次脳機能検査を受けられた方です。

3. 対象期間

2010年4月～2017年12月

（この期間以外の方は、今回の対象とはなりません）

4. 用いるデータ

性別、病理診断、MRI画像、動画、運動機能・高次脳機能検査結果

この内容について、わからない言葉や、疑問、質問、自分がこの対象の対象になるかなど、更に詳細な情報をお知りになりたいときには、遠慮せずにいつでもお尋ねください。

連絡先：金沢大学医薬保健研究域医学系

研究責任者 中田光俊（076-265-2384）

研究分担者 木下雅史（076-265-2384）

中嶋理帆（076-265-2628）

住所 金沢市宝町13-1